

滋賀県による放射性物質拡散予測に関する情報について

(1) 予測モデル

- ・滋賀県が、大気汚染予測モデル（大気中を拡散した大気汚染物質の濃度を予測するプログラム）を活用してシミュレーションしたもの。

(2) 前提条件（福島第一原子力発電所における事故の状況に合わせた）

- ・対象とした放射性物質：ヨウ素 / 総放出量： 2.4×10^{16} Bq / 放出時間：6時間
（放出量が多く、短期的影響が出る可能性があるヨウ素を対象とした）
- ・予測日の選定：北よりの風が長時間吹き風速が緩やかな日を選定。

(3) 予測した放射線量

- ・甲状腺被ばく等価線量（空気中の放射性ヨウ素を呼吸によって取り込むことによる甲状腺の内部被ばくについての積算線量）

(4) 予測結果

- ・滋賀県が行った放射性物質拡散予測のケース数（滋賀県に影響が大きくなると考えられる日を選定して予測）

関西電力(株) 美浜原子力発電所	60 ケース
関西電力(株) 大飯原子力発電所	36 ケース
日本原子力発電(株) 敦賀原子力発電所	5 ケース
関西電力(株) 高浜原子力発電所	5 ケース
計	106 ケース

- ・そのうち 50mSv 以上の範囲が大阪府域にみられたケース数

関西電力(株) 大飯原子力発電所	9 ケース
関西電力(株) 高浜原子力発電所	2 ケース
計	11 ケース

*大阪府域の主な出力データ（濃度分布図）は別添のとおり。

(5) 屋内退避及び避難等に関する指標（放射性ヨウ素による甲状腺の等価線量）

原子力安全委員会の防災指針（現行）

- ・緑色：50mSv 以上 100mSv 未満 「特に記載なし」
- ・土色：100mSv 以上 500mSv 未満 「住民は、自宅等の屋内へ避難すること」











